

ご来館の皆さまへ

お願い

- ・ペットの同伴はお断りしております（ただし盲導犬・介助犬・聴導犬は可）
- ・館内での飲食はご遠慮ください（熱中症対策の水分補給を除く）

西部3Rステーションではフードドライブ活動を行っています！

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは常時「フードドライブ」活動を行っています。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で
余っている食品を
ご提供ください！



日時 毎日10:00～16:00※休館日を除く **場所** 西部3Rステーション2階受付
対象となる食品 未使用・未開封のもので、賞味期限まで1か月以上あるもの。
缶詰やレトルト食品、乾物、菓子、米、飲料、調味料など常温保存可能なものに限りま

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行っています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

体験講座

すべて無料！

内容は変更する場合があります

牛乳パックで紙すき

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



身近なもので万華鏡

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



廃油で“リサイクル”せっけん作り

水曜日 10:30～11:30
定員 10名/日（先着順）
申込 希望日の3日前まで



体験講座の申込方法

電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①**体験内容**②**住所**③**氏名**④**年齢**⑤**電話番号**を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催

日時／毎月第2・第4土曜日
13:00～16:00

場所／2F啓発コーナー

参加費／無料 **事前申込**／不要
※**基材・テキスト**購入可



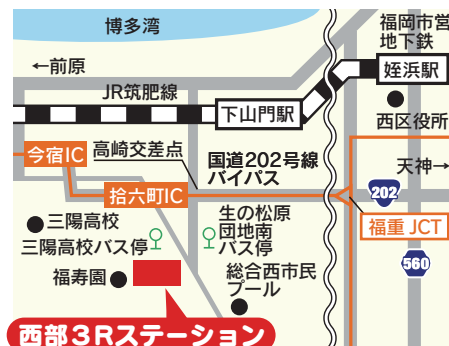
福岡市西部3Rステーション

開館時間 10:00-17:00
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL 092-882-3190 **FAX** 092-882-4580
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

バスで
お越しの方
姪浜・天神・博多方面より
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分
[西鉄バス情報]http://www.nishitetsu.jp/bus/



http://www.fukuoka-seibuplaza.com 福岡市西部3Rステーション 検索

Instagram

西部3Rステーション季刊情報誌／2026年10月1日発行
編集・発行／公益財団法人 ふくおか環境財団



この印刷物は自然環境保護のために
植物油インキで印刷しています。

くるくる便り



出典：環境省 プラスチック資源循環総合サイト「<https://plastic-circulation.env.go.jp/>」



2027年2月

家庭ごみ

プラスチック

分別収集スタート

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



プラスチックによる海洋汚染、気候変動問題などの解決が世界的な課題となっている中、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が2022年4月に施行され、市町村に対し、家庭から排出されるプラスチックを分別回収、リサイクルすることが求められており、他のすべての政令市においても、既にプラスチック分別を実施中もしくは今後実施予定となっています。

福岡市においても、プラスチック分別収集のモデル事業の結果などから、プラスチックをリサイクルすると、焼却時と比べてCO₂排出量を約5割削減（年間の削減量2.4万t：博多区と中央区を合わせた広さの森林が1年間に吸収する量に相当）できることや、家庭系燃えるごみの約1割の減量に寄与するため、2027年2月から、「プラスチック」の分別を開始します。

3 R + Renewable

Reduce
ごみを減らす

Reuse
くりかえし使う

Recycle
資源として再利用する



Renewable
再生可能な資源を使う

なぜプラスチックの 分別収集を始めるんだらう？

福岡市では、プラスチック分別収集の導入を行った場合、主に3つの効果があるため、分別を開始します。

効果1

プラスチックの分別によって、家庭系燃えるごみの約1割にあたる2.5万tの減量に寄与します。

ごみの量を
減らすため
年間2.5万t減量

効果2

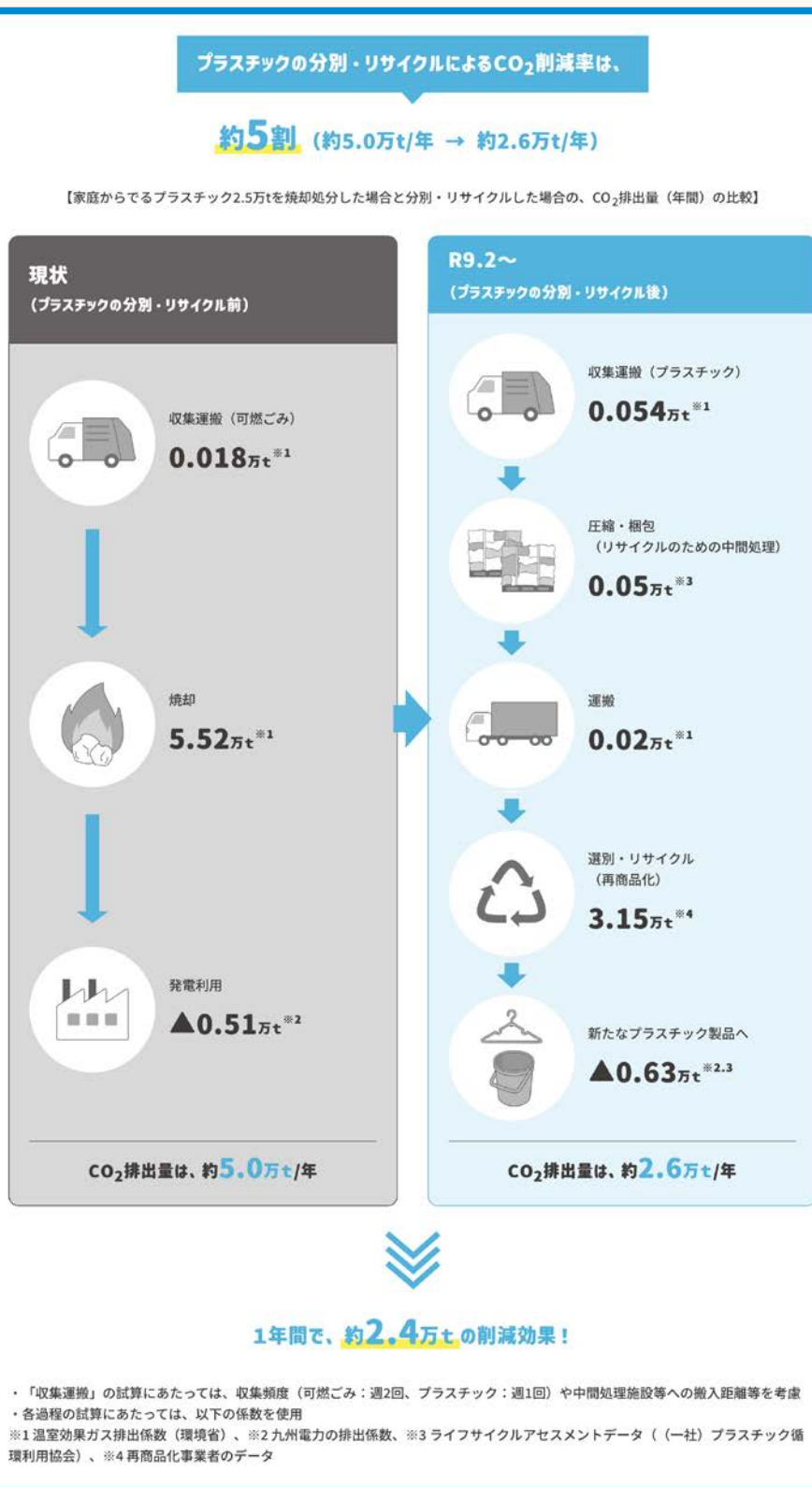
家庭から出るプラスチック2.5万tを、現在と同じく焼却すると約5.0万t/年ものCO₂が排出されます。対して、リサイクルするとCO₂排出量は約2.6万t/年のため、約5割（約2.4万t）の削減効果があります。

CO₂排出量を
減らすため
年間2.4万t削減

効果3

プラスチックの原料である石油は、埋蔵量に限りがあります。今ある資源を未来につなぐために、収集したプラスチックを資源として再利用することが必要です。

限りある資源を
守るため



出典：福岡市 プラスチック分別収集 特設ホームページ
「<https://plastics-bunbetsu-fukuoka-city.jp/>」

収集されたプラスチックはどうなるの？

皆様が分別して出されたプラスチックは、収集車で回収された後、市内2カ所の中間処理施設で、「圧縮・梱包」を経て、北九州市のリサイクル施設で選別・破砕や洗浄などを行い、新たなプラスチックの原料としてリサイクルされます。

リサイクル後の製品は、ハンガーや、物流などで使用するパレットなどですが、これらに加え、福岡市では、この再生プラスチック原料を活用し、小学校で使用する机の引き出しを製造し、市内の全小学校へ導入する予定です。



小学校の引き出し（イメージ図）



プラスチックのゆくえ

プラスチックはどうやって出せばいいの？

分別したプラスチックは、新たに導入される「プラスチック用指定袋」に入れて、週1回の頻度で出します。プラスチック用指定袋は、2026年12月頃から、市内のコンビニやスーパーなどの指定袋取扱店で販売開始の予定です。

プラスチック用指定袋

サイズ	45L、25L
色	水色
料金	1L当たり0.5円 (45L〈10枚入〉220円、 25L〈10枚入〉120円)

「燃えるごみ用指定袋」の半額程度の価格です。

プラスチックを ・出す時間・出す場所・出す頻度

出す時間	日没から夜12時まで
出す場所	(一戸建て) 家の前 (集合住宅) 「燃えるごみ」の置き場 ※集合住宅によって、異なる場合があります。
出す頻度	週1回

そのほか、プラスチックの分別ルールの詳細は、プラスチック分別に関する特設ホームページ（※）をご覧ください。情報は随時更新しています。

また、くるくる便り冬号（2027年1月発行予定）でも情報を紹介しますので、次号もぜひお手に取ってください。

※特設ホームページURL
「<https://plastics-bunbetsu-fukuoka-city.jp/>」



※特設ホームページ 二次元コード